

# 安全データシート(SDS)

## 1. 製品及び会社情報

製品名	: キンサールG-10液	
会社名	: 日興製薬株式会社	
住所	: 岐阜県羽島市上中町一色467-1	
担当部門	: 日興製薬株式会社 品質管理部	(FAX番号)058-398-5863
	(電話番号)058-398-2576	
緊急連絡先	: 日興製薬株式会社 営業部	(FAX番号)058-398-5861
	(電話番号)058-398-2541	

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	: 引火性液体	区分外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A 強い眼刺激
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	: 水生環境有害性(急性)	分類できない
	水生環境有害性(長期間)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 強い眼刺激

## 注意書き

### ：【安全対策】

- ・取扱う前に安全データシート(SDS)をよくお読みの上作業して下さい。
- ・飲み込んだり、吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにし、取扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどの適切な保護具を着用して下さい。
- ・取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをしてください。

### 【応急措置】

- ・飲み込んだ場合は口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。
- ・吸入した場合は空気の新鮮な場所で、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗って下さい。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗って下さい。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けてください。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断／手当を受けて下さい。

### 【保管】

- ・容器を密閉して換気の良い場所で保管して下さい。

### 【廃棄】

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理して下さい。

## 3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物  
濃度又は濃度範囲(含有率) : 10%(水溶液)  
化学特性(化学式) :  $C_{18}H_{39}N_3O_2$

成分	濃度	官報公示整理番号	CAS番号
アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩	10%	9-134、1-215	6843-97-6、18205-85-1
水	89%以上	—	7732-18-5
pH調節剤	1%未満	非公開	非公開

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い流す。  
症状がでた場合には必要に応じて医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼(まぶたの裏までよく洗う)した後、速やかに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませる。  
直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。  
被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 二酸化炭素、粉末、泡、水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。  
周囲の設備などに散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動は、可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。  
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出防止、除害などの作業は、必ず、保護具(保護手袋、保護眼鏡)を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 回収、中和、封じ込め : 土砂等の不燃物で囲い流出を防止し、スコップまたは吸引機等で空容器に回収する。  
及び浄化方法及び機材 : 回収後の少量の残留物は、土砂またはおがくず等に吸収させ回収する。  
残留物が極少量の場合は、ウエス等で拭き取る。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。
- 局所排気、全体排気 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 注意事項 : 強酸化剤との接触は避ける。  
火気を近づけない。
- 安全取扱注意事項 : 取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。

### 保管

- 適切な保管条件 : 通気の良い場所で密栓保管する。  
35℃以下で保管することが望ましい。
- 容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。
- 

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気、粉塵またはヒューム、ミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度 : 設定されていない。
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- ACGIH : 設定されていない。
- 保護具
- 呼吸用の保護具 : 通常の作業の場合は特に必要なし
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 眼の保護具 : 側板付保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣
- 

## 9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 帯黄色
- 臭い : 特異臭
- pH : 約8
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度(発火点) : データなし
- 燃焼または爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 比重(20℃) : 約1.013
- 溶解度 : 水に混和
- n-オクタノール/水分配係数 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
- 危険有害反応可能性 : 強酸化剤とは反応して危険。
- 避けるべき条件 : データなし
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : データなし
- その他 : データなし
-

---

### 11. 有害性情報(100%アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩として)

急性毒性	
経口	: 区分外 LD50=2930mg/kg(ラット)(区分外)
経皮	: 分類できない データなし
吸入(蒸気)	: 分類できない データなし
吸入(粉塵、ミスト)	: 分類できない データなし
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外 無刺激性(モルモット)(有効成分5%水溶液)P.II=0(区分外)
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 区分2A 中程度の刺激性(ウサギ)(有効成分1%水溶液)(区分2A)
呼吸器感受性	: 分類できない データなし
皮膚感受性	: 区分外 感受性なし(モルモット)(OECD法)(区分外)
生殖細胞変異原性	: 分類できない データなし
発がん性	: 分類できない
産業衛生学会 IARC	: 本品の構成成分は、発がん性物質としてリストアップされていない。 本品の構成成分は、IARCモノグラフにランクアップされていない。
生殖毒性	: 分類できない データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない データなし
吸引性呼吸器有害性:	: 分類できない データなし

---

### 12. 環境影響情報(100%アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩として)

生態毒性	
水生環境有害性(急性)	: 分類できない データなし
水生環境有害性(長期間)	: 分類できない データなし
残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
その他の有害性	: データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

---

---

#### 14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送はICAO/IATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類	: 国連の分類基準に該当しない
国連番号	: 国連の分類基準に該当しない
海洋汚染物質	: 該当せず
国内規制	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 運搬に際しては、容器の漏れのないこと及び所定の表示のあることを確かめ、 転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	: 171

---

#### 15. 適用法令

化審法	: 非該当
消防法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
船舶安全法(危規則)	: 非該当
航空法	: 非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	: 非該当
医薬品医療機器法	: 日本薬局方

---

#### 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはいかなる保証をするものではありません。また、新しい知見及び試験等により内容が変更されることがあります。

なお、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特別な取扱いをする場合には、新たに用法・用途に適した安全対策を実施のうえ御使用ください。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。